

名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）対策協議会第 32 回幹事会議事録

- ・日時：平成 22 年 3 月 25 日（木）14:00～15:30
- ・場所：西尾市役所 22A 会議室
- ・出席：（沿線市町）西尾市企画課 榊原課長、谷崎主事
蒲郡市企画広報課 市川次長、川畑主査
吉良町企画課 近藤課長、伴野課長補佐
幡豆町企画課 深谷課長、三浦係長
（愛知県）地域振興部交通対策課 松井主幹、矢口主査
（名鉄）企画管理部企画課 牧野課長、近藤サブチーフ
（オブザーバー）中部運輸局鉄道部監理課 後藤専門官

[発言要旨]

【支援策について】

（西尾市）

先日、議会へ事前説明を行い、沿線市町の方向性について一定の理解が得られた。しかし、受益者負担の検討、通学定期割引率の見直し、経営改善の要望などがあった。

（名鉄）

受益者負担、すなわち運賃の値上げについては、協議会においても同様のご意見をいただいております。その趣旨は十分に理解しているところではある。しかしながら、この区間みの運賃値上げは事実上困難であり、また現在の経済環境を鑑みた場合、ご利用者の皆さまにご理解をいただけるかは疑問である。また、相応の旅客逸走も想定する必要があることから、必ずしも有効な手段とは言い切れないのではないかと。通学定期の割引率については、当社の割引率が大手民鉄の中で最も高い水準にあることから、その趣旨は十分理解するところだが、これを見直すということは、全線での運賃改定を行うということでもあり、軽々に論ずることはできない問題である。経営改善については、民間の株式会社である以上、常に取り組まなければならない課題であると考えている。とりわけこの区間では、厳しい輸送状況にあることから、相当以前から、ワンマン運転や駅員無配置化といった経費削減策を実施している。また、現在でも会社全体で経費削減に向けた取り組みを行っているところでもあり、この区間でも、昨年 11 月、吉良吉田駅における駅係員の配置見直しを行っており、今後も可能な限り取り組んでいく所存であり、ご理解願いたい。

【検討スケジュールについて】

(蒲郡市)

財政支援を伴う以上、10月に協議会を開き決定するべきではあるが、その中間報告として6月及び8月辺りにも協議会を開催するべき。

(吉良町)

全員協議会で報告するために、協議会の開催は各月の上旬でお願いしたい。

(幡豆町)

協議会という形態にはこだわらないが、10月までにトップを含めた会議は必要では。

(愛知県)

支援策の中味を固めていく手順として、まず支援対象経費と支援額の規模を決め、その後、市町毎の支援額を決めていく流れになると思われる。それらについて、段階的に総会で協議・合意していく形がよいのではないか。

(西尾市)

これらの意見を踏まえて、6月及び8月に総会の開催予定をスケジュールに追加します。

(以上)